

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅰ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書： （ 数研出版 新編 数学Ⅰ ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】
- 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	式の計算 式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。	・多項式の加法減法 ・多項式の乗法 ・因数分解	【知識・技能】 小テスト、 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	10
	実数 実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	・実数 ・根号を含む式の計算	【知識・技能】 小テスト、 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	1次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	・不等式の性質 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式不等式	【知識・技能】 小テスト、 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	10
	集合と命題 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	・集合 ・命題と条件 ・命題と逆、裏、対偶 ・命題と証明	【知識・技能】 小テスト、 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	2次関数とグラフ 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフを描くなどして多面的に考察する。	・関数とグラフ ・2次関数のグラフ ・2次関数の最大最小 ・2次関数の決定	【知識・技能】 小テスト、 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
	2次方程式と2次不等式 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・2次不等式	【知識・技能】 小テスト、 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	20
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	図形と計量 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の応用 ・三角形の面積	【知識・技能】 小テスト、 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	16
	データの分析 適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力を養う。	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・2つの変量の間の関係 ・仮説検定の考え方	【知識・技能】 小テスト、 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
							合計 105

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 数学 科目 数学 A

教 科： 数学 科 目： 数学 A 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 新編 数学 A（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 数学 A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	集合 ・集合の概念や共通部分、和集合、部分集合、補集合、ド・モルガンの法則について理解させる。	・集合	【知識・技能】 定期査考 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 査考得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	3
	場合の数と確率 ・和集合および補集合について理解し、それらの要素の個数を求めることができるとともに、具体的な場面で利用できるようにする。	・集合の要素	【知識・技能】 定期査考 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 査考得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	5
	場合の数と確率 ・樹形図を用いて、場合の数の数え上げができるようにする。 ・和の法則、積の法則の利用場面を理解し、具体的な場面で場合の数を求められるようにする。	・集合の要素の個数	【知識・技能】 定期査考 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 査考得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	4
	定期査考 場合の数と確率 ・順列の考え方を、具体的な事象を通して理解し、いろいろな場合の数を求められるようにする。 ・円順列、重複順列について理解し、順列の考え方をを用いて場合の数を求められるようにする。	・順列	【知識・技能】 定期査考 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 査考得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	1 5
	場合の数と確率 ・組合せの考え方を理解し、いろいろな場合の数を求められるようにする。 ・組合せと順列の考え方の違いを理解して使い分けができる。 ・同じものを含む順列について、組合せを用いて考察し、総数を求めることができるようにする。	・組合せ	【知識・技能】 定期査考 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 査考得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	5
	定期査考			○	○	○	1
	・具体例を通して施行と事象の意味および、事象を集合で表されることを理解させる。 ・確率の定義を理解し、確率を求めることができるようにする。	・事象と確率	【知識・技能】 定期査考 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 査考得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	4
	・根元事象が同様に確からしい場合の確率の意味を理解し、いろいろな具体例における確率を求めることができるようにする。 ・加法定理や余事象を利用して、確率を求めることができるようにする。	・確率の基本性質	【知識・技能】 定期査考 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 査考得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	5

2 学 期	・具体的な例を通して、独立な試行の確率の求め方を理解し、独立な試行の確率を求めることができるようにする。 ・既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率を求めることができるようにする。	・独立な試行と確率	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	・具体的な例を通して、条件付き確率の意味を理解し、条件付き確率を求めることができるようにする。 ・条件付き確率の式から乗法定理を導き、乗法定理を利用して確率を求めることができるようにする。	・条件付き確率	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	4
	・期待値の意味を理解し、期待値を求めることができるようにする。	・期待値	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	2
	・線分の内分・外分を理解し、三角形の角の二等分線の辺について考察する。 ・定理を適切に利用して、線分の比を求めることができるようにする。	・三角形の辺の比	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	3
	・三角形の3辺の垂直二等分線、3つの角の二等分線、3本の中線が、それぞれ1点で交わることを理解し、三角形の外心、内心、重心について理解させる。	・三角形の外心・内心・重心	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	・チェバの定理・メネラウスの定理について理解させる。 ・チェバの定理・メネラウスの定理を用いて、線分の比、共点、共線に関する基本的な問題が解くことができるようにする。	・チェバの定理・メネラウスの定理	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	3
	・円に関する基本的な性質として、弧と弦の性質について理解させる。 ・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件を利用して問題が解くことができるようにする。	・円に内接する四角形	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	2
	・円と直線の関係について、円外の点から円に引いた2つの接線の長さが等しいことや、接弦定理、方べきの定理について理解させる。 ・円と接線の性質、接弦定理、方べきの定理を用いて、線分の長さを求めることができるようにする。	・円と直線	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	4
	・2円の位置関係が5通りあることを理解し、2つの円の半径、中心の距離との関係を考察することができるようにする。 ・2つの円の共通接線の定義を理解し、その長さを求められるようにする。	・2つの円	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	3
	・空間における2直線の位置関係、直線と平面の位置関係、2平面の位置関係を理解し、それらについて考察できるようにする。	・直線と平面	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	3
	・正多面体の特徴を理解し、面・頂点・辺の数を求めることができるようになる。 ・凸多面体について、オイラーの多面体定理が成り立つことを考察することができる。	・空間図形と多面体	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	2
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 新編 数学Ⅱ（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明確・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	式と証明 ・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解させる。	・3次式の展開と因数分解 ・二項定理 ・多項式のわり算 ・分数式とその計算	【知識・技能】 ₁ ₂ ₃ ₄ ₅ ₆ ₇ ₈ ₉ ₁₀ ₁₁ ₁₂ ₁₃ ₁₄ ₁₅ ₁₆ ₁₇ ₁₈ ₁₉ ₂₀ ₂₁ ₂₂ ₂₃ ₂₄ ₂₅ ₂₆ ₂₇ ₂₈ ₂₉ ₃₀ ₃₁ ₃₂ ₃₃ ₃₄ ₃₅ ₃₆ ₃₇ ₃₈ ₃₉ ₄₀ ₄₁ ₄₂ ₄₃ ₄₄ ₄₅ ₄₆ ₄₇ ₄₈ ₄₉ ₅₀ ₅₁ ₅₂ ₅₃ ₅₄ ₅₅ ₅₆ ₅₇ ₅₈ ₅₉ ₆₀ ₆₁ ₆₂ ₆₃ ₆₄ ₆₅ ₆₆ ₆₇ ₆₈ ₆₉ ₇₀ ₇₁ ₇₂ ₇₃ ₇₄ ₇₅ ₇₆ ₇₇ ₇₈ ₇₉ ₈₀ ₈₁ ₈₂ ₈₃ ₈₄ ₈₅ ₈₆ ₈₇ ₈₈ ₈₉ ₉₀ ₉₁ ₉₂ ₉₃ ₉₄ ₉₅ ₉₆ ₉₇ ₉₈ ₉₉ ₁₀₀ ₁₀₁ ₁₀₂ ₁₀₃ ₁₀₄ ₁₀₅ ₁₀₆ ₁₀₇ ₁₀₈ ₁₀₉ ₁₁₀ ₁₁₁ ₁₁₂ ₁₁₃ ₁₁₄ ₁₁₅ ₁₁₆ ₁₁₇ ₁₁₈ ₁₁₉ ₁₂₀ ₁₂₁ ₁₂₂ ₁₂₃ ₁₂₄ ₁₂₅ ₁₂₆ ₁₂₇ ₁₂₈ ₁₂₉ ₁₃₀ ₁₃₁ ₁₃₂ ₁₃₃ ₁₃₄ ₁₃₅ ₁₃₆ ₁₃₇ ₁₃₈ ₁₃₉ ₁₄₀ ₁₄₁ ₁₄₂ ₁₄₃ ₁₄₄ ₁₄₅ ₁₄₆ ₁₄₇ ₁₄₈ ₁₄₉ ₁₅₀ ₁₅₁ ₁₅₂ ₁₅₃ ₁₅₄ ₁₅₅ ₁₅₆ ₁₅₇ ₁₅₈ ₁₅₉ ₁₆₀ ₁₆₁ ₁₆₂ ₁₆₃ ₁₆₄ ₁₆₅ ₁₆₆ ₁₆₇ ₁₆₈ ₁₆₉ ₁₇₀ ₁₇₁ ₁₇₂ ₁₇₃ ₁₇₄ ₁₇₅ ₁₇₆ ₁₇₇ ₁₇₈ ₁₇₉ ₁₈₀ ₁₈₁ ₁₈₂ ₁₈₃ ₁₈₄ ₁₈₅ ₁₈₆ ₁₈₇ ₁₈₈ ₁₈₉ ₁₉₀ ₁₉₁ ₁₉₂ ₁₉₃ ₁₉₄ ₁₉₅ ₁₉₆ ₁₉₇ ₁₉₈ ₁₉₉ ₂₀₀ ₂₀₁ ₂₀₂ ₂₀₃ ₂₀₄ ₂₀₅ ₂₀₆ ₂₀₇ ₂₀₈ ₂₀₉ ₂₁₀ ₂₁₁ ₂₁₂ ₂₁₃ ₂₁₄ ₂₁₅ ₂₁₆ ₂₁₇ ₂₁₈ ₂₁₉ ₂₂₀ ₂₂₁ ₂₂₂ ₂₂₃ ₂₂₄ ₂₂₅ ₂₂₆ ₂₂₇ ₂₂₈ ₂₂₉ ₂₃₀ ₂₃₁ ₂₃₂ ₂₃₃ ₂₃₄ ₂₃₅ ₂₃₆ ₂₃₇ ₂₃₈ ₂₃₉ ₂₄₀ ₂₄₁ ₂₄₂ ₂₄₃ ₂₄₄ ₂₄₅ ₂₄₆ ₂₄₇ ₂₄₈ ₂₄₉ ₂₅₀ ₂₅₁ ₂₅₂ ₂₅₃ ₂₅₄ ₂₅₅ ₂₅₆ ₂₅₇ ₂₅₈ ₂₅₉ ₂₆₀ ₂₆₁ ₂₆₂ ₂₆₃ ₂₆₄ ₂₆₅ ₂₆₆ ₂₆₇ ₂₆₈ ₂₆₉ ₂₇₀ ₂₇₁ ₂₇₂ ₂₇₃ ₂₇₄ ₂₇₅ ₂₇₆ ₂₇₇ ₂₇₈ ₂₇₉ ₂₈₀ ₂₈₁ ₂₈₂ ₂₈₃ ₂₈₄ ₂₈₅ ₂₈₆ ₂₈₇ ₂₈₈ ₂₈₉ ₂₉₀ ₂₉₁ ₂₉₂ ₂₉₃ ₂₉₄ ₂₉₅ ₂₉₆ ₂₉₇ ₂₉₈ ₂₉₉ ₃₀₀ ₃₀₁ ₃₀₂ ₃₀₃ ₃₀₄ ₃₀₅ ₃₀₆ ₃₀₇ ₃₀₈ ₃₀₉ ₃₁₀ ₃₁₁ ₃₁₂ ₃₁₃ ₃₁₄ ₃₁₅ ₃₁₆ ₃₁₇ ₃₁₈ ₃₁₉ ₃₂₀ ₃₂₁ ₃₂₂ ₃₂₃ ₃₂₄ ₃₂₅ ₃₂₆ ₃₂₇ ₃₂₈ ₃₂₉ ₃₃₀ ₃₃₁ ₃₃₂ ₃₃₃ ₃₃₄ ₃₃₅ ₃₃₆ ₃₃₇ ₃₃₈ ₃₃₉ ₃₄₀ ₃₄₁ ₃₄₂ ₃₄₃ ₃₄₄ ₃₄₅ ₃₄₆ ₃₄₇ ₃₄₈ ₃₄₉ ₃₅₀ ₃₅₁ ₃₅₂ ₃₅₃ ₃₅₄ ₃₅₅ ₃₅₆ ₃₅₇ ₃₅₈ ₃₅₉ ₃₆₀ ₃₆₁ ₃₆₂ ₃₆₃ ₃₆₄ ₃₆₅ ₃₆₆ ₃₆₇ ₃₆₈ ₃₆₉ ₃₇₀ ₃₇₁ ₃₇₂ ₃₇₃ ₃₇₄ ₃₇₅ ₃₇₆ ₃₇₇ ₃₇₈ ₃₇₉ ₃₈₀ ₃₈₁ ₃₈₂ ₃₈₃ ₃₈₄ ₃₈₅ ₃₈₆ ₃₈₇ ₃₈₈ ₃₈₉ ₃₉₀ ₃₉₁ ₃₉₂ ₃₉₃ ₃₉₄ ₃₉₅ ₃₉₆ ₃₉₇ ₃₉₈ ₃₉₉ ₄₀₀ ₄₀₁ ₄₀₂ ₄₀₃ ₄₀₄ ₄₀₅ ₄₀₆ ₄₀₇ ₄₀₈ ₄₀₉ ₄₁₀ ₄₁₁ ₄₁₂ ₄₁₃ ₄₁₄ ₄₁₅ ₄₁₆ ₄₁₇ ₄₁₈ ₄₁₉ ₄₂₀ ₄₂₁ ₄₂₂ ₄₂₃ ₄₂₄ ₄₂₅ ₄₂₆ ₄₂₇ ₄₂₈ ₄₂₉ ₄₃₀ ₄₃₁ ₄₃₂ ₄₃₃ ₄₃₄ ₄₃₅ ₄₃₆ ₄₃₇ ₄₃₈ ₄₃₉ ₄₄₀ ₄₄₁ ₄₄₂ ₄₄₃ ₄₄₄ ₄₄₅ ₄₄₆ ₄₄₇ ₄₄₈ ₄₄₉ ₄₅₀ ₄₅₁ ₄₅₂ ₄₅₃ ₄₅₄ ₄₅₅ ₄₅₆ ₄₅₇ ₄₅₈ ₄₅₉ ₄₆₀ ₄₆₁ ₄₆₂ ₄₆₃ ₄₆₄ ₄₆₅ ₄₆₆ ₄₆₇ ₄₆₈ ₄₆₉ ₄₇₀ ₄₇₁ ₄₇₂ ₄₇₃ ₄₇₄ ₄₇₅ ₄₇₆ ₄₇₇ ₄₇₈ ₄₇₉ ₄₈₀ ₄₈₁ ₄₈₂ ₄₈₃ ₄₈₄ ₄₈₅ ₄₈₆ ₄₈₇ ₄₈₈ ₄₈₉ ₄₉₀ ₄₉₁ ₄₉₂ ₄₉₃ ₄₉₄ ₄₉₅ ₄₉₆ ₄₉₇ ₄₉₈ ₄₉₉ ₅₀₀ ₅₀₁ ₅₀₂ ₅₀₃ ₅₀₄ ₅₀₅ ₅₀₆ ₅₀₇ ₅₀₈ ₅₀₉ ₅₁₀ ₅₁₁ ₅₁₂ ₅₁₃ ₅₁₄ ₅₁₅ ₅₁₆ ₅₁₇ ₅₁₈ ₅₁₉ ₅₂₀ ₅₂₁ ₅₂₂ ₅₂₃ ₅₂₄ ₅₂₅ ₅₂₆ ₅₂₇ ₅₂₈ ₅₂₉ ₅₃₀ ₅₃₁ ₅₃₂ ₅₃₃ ₅₃₄ ₅₃₅ ₅₃₆ ₅₃₇ ₅₃₈ ₅₃₉ ₅₄₀ ₅₄₁ ₅₄₂ ₅₄₃ ₅₄₄ ₅₄₅ ₅₄₆ ₅₄₇ ₅₄₈ ₅₄₉ ₅₅₀ ₅₅₁ ₅₅₂ ₅₅₃ ₅₅₄ ₅₅₅ ₅₅₆ ₅₅₇ ₅₅₈ ₅₅₉ ₅₆₀ ₅₆₁ ₅₆₂ ₅₆₃ ₅₆₄ ₅₆₅ ₅₆₆ ₅₆₇ ₅₆₈ ₅₆₉ ₅₇₀ ₅₇₁ ₅₇₂ ₅₇₃ ₅₇₄ ₅₇₅ ₅₇₆ ₅₇₇ ₅₇₈ ₅₇₉ ₅₈₀ ₅₈₁ ₅₈₂ ₅₈₃ ₅₈₄ ₅₈₅ ₅₈₆ ₅₈₇ ₅₈₈ ₅₈₉ ₅₉₀ ₅₉₁ ₅₉₂ ₅₉₃ ₅₉₄ ₅₉₅ ₅₉₆ ₅₉₇ ₅₉₈ ₅₉₉ ₆₀₀ ₆₀₁ ₆₀₂ ₆₀₃ ₆₀₄ ₆₀₅ ₆₀₆ ₆₀₇ ₆₀₈ ₆₀₉ ₆₁₀ ₆₁₁ ₆₁₂ ₆₁₃ ₆₁₄ ₆₁₅ ₆₁₆ ₆₁₇ ₆₁₈ ₆₁₉ ₆₂₀ ₆₂₁ ₆₂₂ ₆₂₃ ₆₂₄ ₆₂₅ ₆₂₆ ₆₂₇ ₆₂₈ ₆₂₉ ₆₃₀ ₆₃₁ ₆₃₂ ₆₃₃ ₆₃₄ ₆₃₅ ₆₃₆ ₆₃₇ ₆₃₈ ₆₃₉ ₆₄₀ ₆₄₁ ₆₄₂ ₆₄₃ ₆₄₄ ₆₄₅ ₆₄₆ ₆₄₇ ₆₄₈ ₆₄₉ ₆₅₀ ₆₅₁ ₆₅₂ ₆₅₃ ₆₅₄ ₆₅₅ ₆₅₆ ₆₅₇ ₆₅₈ ₆₅₉ ₆₆₀ ₆₆₁ ₆₆₂ ₆₆₃ ₆₆₄ ₆₆₅ ₆₆₆ ₆₆₇ ₆₆₈ ₆₆₉ ₆₇₀ ₆₇₁ ₆₇₂ ₆₇₃ ₆₇₄ ₆₇₅ ₆₇₆ ₆₇₇ ₆₇₈ ₆₇₉ ₆₈₀ ₆₈₁ ₆₈₂ ₆₈₃ ₆₈₄ ₆₈₅ ₆₈₆ ₆₈₇ ₆₈₈ ₆₈₉ ₆₉₀ ₆₉₁ ₆₉₂ ₆₉₃ ₆₉₄ ₆₉₅ ₆₉₆ ₆₉₇ ₆₉₈ ₆₉₉ ₇₀₀ ₇₀₁ ₇₀₂ ₇₀₃ ₇₀₄ ₇₀₅ ₇₀₆ ₇₀₇ ₇₀₈ ₇₀₉ ₇₁₀ ₇₁₁ ₇₁₂ ₇₁₃ ₇₁₄ ₇₁₅ ₇₁₆ ₇₁₇ ₇₁₈ ₇₁₉ ₇₂₀ ₇₂₁ ₇₂₂ ₇₂₃ ₇₂₄ ₇₂₅ ₇₂₆ ₇₂₇ ₇₂₈ ₇₂₉ ₇₃₀ ₇₃₁ ₇₃₂ ₇₃₃ ₇₃₄ ₇₃₅ ₇₃₆ ₇₃₇ ₇₃₈ ₇₃₉ ₇₄₀ ₇₄₁ ₇₄₂ ₇₄₃ ₇₄₄ ₇₄₅ ₇₄₆ ₇₄₇ ₇₄₈ ₇₄₉ ₇₅₀ ₇₅₁ ₇₅₂ ₇₅₃ ₇₅₄ ₇₅₅ ₇₅₆ ₇₅₇ ₇₅₈ ₇₅₉ ₇₆₀ ₇₆₁ ₇₆₂ ₇₆₃ ₇₆₄ ₇₆₅ ₇₆₆ ₇₆₇ ₇₆₈ ₇₆₉ ₇₇₀ ₇₇₁ ₇₇₂ ₇₇₃ ₇₇₄ ₇₇₅ ₇₇₆ ₇₇₇ ₇₇₈ ₇₇₉ ₇₈₀ ₇₈₁ ₇₈₂ ₇₈₃ ₇₈₄ ₇₈₅ ₇₈₆ ₇₈₇ ₇₈₈ ₇₈₉ ₇₉₀ ₇₉₁ ₇₉₂ ₇₉₃ ₇₉₄ ₇₉₅ ₇₉₆ ₇₉₇ ₇₉₈ ₇₉₉ ₈₀₀ ₈₀₁ ₈₀₂ ₈₀₃ ₈₀₄ ₈₀₅ ₈₀₆ ₈₀₇ ₈₀₈ ₈₀₉ ₈₁₀ ₈₁₁ ₈₁₂ ₈₁₃ ₈₁₄ ₈₁₅ ₈₁₆ ₈₁₇ ₈₁₈ ₈₁₉ ₈₂₀ ₈₂₁ ₈₂₂ ₈₂₃ ₈₂₄ ₈₂₅ ₈₂₆ ₈₂₇ ₈₂₈ ₈₂₉ ₈₃₀ ₈₃₁ ₈₃₂ ₈₃₃ ₈₃₄ ₈₃₅ ₈₃₆ ₈₃₇ ₈₃₈ ₈₃₉ ₈₄₀ ₈₄₁ ₈₄₂ ₈₄₃ ₈₄₄ ₈₄₅ ₈₄₆ ₈₄₇ ₈₄₈ ₈₄₉ ₈₅₀ ₈₅₁ ₈₅₂ ₈₅₃ ₈₅₄ ₈₅₅ ₈₅₆ ₈₅₇ ₈₅₈ ₈₅₉ ₈₆₀ ₈₆₁ ₈₆₂ ₈₆₃ ₈₆₄ ₈₆₅ ₈₆₆ ₈₆₇ ₈₆₈ ₈₆₉ ₈₇₀ ₈₇₁ ₈₇₂ ₈₇₃ ₈₇₄ ₈₇₅ ₈₇₆ ₈₇₇ ₈₇₈ ₈₇₉ ₈₈₀ ₈₈₁ ₈₈₂ ₈₈₃ ₈₈₄ ₈₈₅ ₈₈₆ ₈₈₇ ₈₈₈ ₈₈₉ ₈₉₀ ₈₉₁ ₈₉₂ ₈₉₃ ₈₉₄ ₈₉₅ ₈₉₆ ₈₉₇ ₈₉₈ ₈₉₉ ₉₀₀ ₉₀₁ ₉₀₂ ₉₀₃ ₉₀₄ ₉₀₅ ₉₀₆ ₉₀₇ ₉₀₈ ₉₀₉ ₉₁₀ ₉₁₁ ₉₁₂ ₉₁₃ ₉₁₄ ₉₁₅ ₉₁₆ ₉₁₇ ₉₁₈ ₉₁₉ ₉₂₀ ₉₂₁ ₉₂₂ ₉₂₃ ₉₂₄ ₉₂₅ ₉₂₆ ₉₂₇ ₉₂₈ ₉₂₉ ₉₃₀ ₉₃₁ ₉₃₂ ₉₃₃ ₉₃₄ ₉₃₅ ₉₃₆ ₉₃₇ ₉₃₈ ₉₃₉ ₉₄₀ ₉₄₁ ₉₄₂ ₉₄₃ ₉₄₄ ₉₄₅ ₉₄₆ ₉₄₇ ₉₄₈ ₉₄₉ ₉₅₀ ₉₅₁ ₉₅₂ ₉₅₃ ₉₅₄ ₉₅₅ ₉₅₆ ₉₅₇ ₉₅₈ ₉₅₉ ₉₆₀ ₉₆₁ ₉₆₂ ₉₆₃ ₉₆₄ ₉₆₅ ₉₆₆ ₉₆₇ ₉₆₈ ₉₆₉ ₉₇₀ ₉₇₁ ₉₇₂ ₉₇₃ ₉₇₄ ₉₇₅ ₉₇₆ ₉₇₇ ₉₇₈ ₉₇₉ ₉₈₀ ₉₈₁ ₉₈₂ ₉₈₃ ₉₈₄ ₉₈₅ ₉₈₆ ₉₈₇ ₉₈₈ ₉₈₉ ₉₉₀ ₉₉₁ ₉₉₂ ₉₉₃ ₉₉₄ ₉₉₅ ₉₉₆ ₉₉₇ ₉₉₈ ₉₉₉ ₁₀₀₀ ₁₀₀₁ ₁₀₀₂ ₁₀₀₃ ₁₀₀₄ ₁₀₀₅ ₁₀₀₆ ₁₀₀₇ ₁₀₀₈ ₁₀₀₉ ₁₀₁₀ ₁₀₁₁ ₁₀₁₂ ₁₀₁₃ ₁₀₁₄ ₁₀₁₅ ₁₀₁₆ ₁₀₁₇ ₁₀₁₈ ₁₀₁₉ ₁₀₂₀ ₁₀₂₁ ₁₀₂₂ ₁₀₂₃ ₁₀₂₄ ₁₀₂₅ ₁₀₂₆ ₁₀₂₇ ₁₀₂₈ ₁₀₂₉ ₁₀₃₀ ₁₀₃₁ ₁₀₃₂ ₁₀₃₃ ₁₀₃₄ ₁₀₃₅ ₁₀₃₆ ₁₀₃₇ _{1038</}				

3 学 期	微分法と積分法 ・微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにさせる。 ・導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにさせる。 定期考査	・微分係数 ・導関数とその計算 ・接線の方程式	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査、授業の取り組み	○	○	○	14
				○	○	○	1
	図形と方程式 ・円の性質や関係について、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・不等式を満たす点の集合が、座標平面上の領域を表すことを理解するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにさせる。	・円の方程式 ・円と直線 ・2つの円 ・軌跡と方程式 ・不等式の表す領域	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査、授業の取り組み	○	○	○	18
	微分法と積分法 ・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにさせる。	・関数の増減と極大・極小 ・関数の増減・グラフの応用 ・不定積分 ・定積分 ・定積分と面積	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査、授業の取り組み	○	○	○	18
							合計 140

56

36

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科 数学 科目 数学B 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 新編 数学B（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて知識を深め、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、日常の事象や社会の事象を数学科し、問題の解決をしたり、解決の課程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	等差数列と等比数列 ・数列やその一般項の表し方について理解する。数列に関する用語、記号を適切に用いることができる。	・数列と一般項	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○			4
	等差数列と等比数列 ・等差数列の公差、一般項について理解している。初項と公差を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 ・等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。	・等差数列 ・等差数列の和	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○		○	4
	等差数列と等比数列 ・等比数列の公比、一般項について理解する。初項と公比を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 ・等比数列の和の公式を、適切に利用して数列の和を求めることができる。	・等比数列 ・等比数列の和	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○			4
	定期検査			○	○	○	1
	いろいろな数列 ・Σの意味と性質を理解して、数列の和が求められる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。	・和の記号Σ ・階差数列	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	5
	漸化式と数学的帰納法 ・和の求め方を工夫して、数列の和が求められる。 ・漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができる。	・いろいろな数列の和 ・漸化式	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	5
	定期検査			○	○	○	1
	確率分布 ・確率変数や確率分布について、用語の意味を理解する。 ・確率変数の確率分布を求めることができる。	・確率変数と確率分布	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○		○	4
	確率分布 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。	・確率変数の期待値と分散	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○		○	5

2 学 期	確率分布 ・ 確率変数の和の期待値を求めることができる。 ・ 確率変数の独立について理解している。	・ 確率変数の和と積	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	確率分布 ・ 反復試行の結果を二項分布を用いて表すことができる。 ・ 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。	・ 二項分布	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
	確率分布 ・ 確率密度関数や分布曲線の定義を理解し、連続型確率変数について、確率を求めることができる。	・ 連続した値をとる確率変数	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○		○	4
	確率分布 ・ 正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換できる。	・ 正規分布	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○		○	4
	確率分布 ・ 標準正規分布に従う確率変数Zについての確率を求めることができる。	・ 標準正規分布	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		3
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	統計的な推測 ・ 母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することを理解し、母平均、母標準偏差を求めることができる。	・ 母集団と標本	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	3
	統計的な推測 ・ 母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。 ・ 標本平均の分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。	・ 標本平均の分布	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		3
	統計的な推測 ・ 推定に関わる用語、記号を適切に活用することができる。 ・ 信頼区間の考え方をを用いて、母平均や母比率の推定ができる。	・ 推定	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○			4
	統計的な推測 ・ 仮説検定に関わる用語を適切に活用することができる。 ・ 仮説検定の考え方をを用いて、日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。	・ 仮説検定	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○		○	4
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 医療看護数学

教科 数学 科目 医療看護数学 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 看護医療系の数学Ⅰ+A（シグマベスト） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 医療看護数学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、問題を解決するために事象を数学的に解釈したり、知識を活用できるように数学的活動を通して取得する。	数学を活用して、事象を論理的に思考する力、数理的に問題を捉えて解決するための方法を考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	展開と因数分解 ・高校数学の基礎・基本である式の展開、ならびに因数分解についてその方法を理解し、双方向の式変更をできるようにする。	・式の展開 ・式の因数分解	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○		4
	実数 ・実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	・実数 ・根号を含む式の計算	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○		○	4
	2次関数とグラフ 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフを描くなどして多面的に考察する。	・関数とグラフ ・2次関数のグラフ ・2次関数の最大最小 ・2次関数の決定	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○			4
	定期検査			○	○	○	1
	2次方程式と2次不等式 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・2次不等式	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	5
	図形と計量 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の応用 ・三角形の面積	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	5
	定期検査			○	○	○	1
	データの分析 適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力を養う。	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・2つの変量の間の関係 ・仮説検定の考え方	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○		○	4
	場合の数と確率 ・樹形図を用いて、場合の数の数え上げができるようにする。 ・和の法則、積の法則の利用場面を理解し、具体的な場面で場合の数を求められるようにする。	・集合の要素の個数	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○		○	5

2 学 期	場合の数と確率 ・順列の考え方を、具体的な事象を通して理解し、いろいろな場合の数を求められるようにする。 ・組合せの考え方を理解し、いろいろな場合の数を求められるようにする	・順列 ・組合せ	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	5
	定期考查			○	○	○	1
	独立な試行 ・具体的な例を通して、独立な試行の確率の求め方を理解し、独立な試行の確率を求めることができるようにする。 ・既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率を求めることができるようにする。	・独立な試行と確率	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	4
	条件付き確率 ・具体的な例を通して、条件付き確率の意味を理解し、条件付き確率を求めることができるようにする。	・条件付き確率	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○		○	4
	期待値 ・期待値の意味を理解し、期待値を求めることができるようにする。	・期待値	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○		○	4
	図形の性質 ・線分の内分・外分を理解し、三角形の角の二等分線の辺について考察する。 ・定理を適切に利用して、線分の比を求めることができるようにする。	・三角形の辺の比	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○		3
	定期考查			○	○	○	1
3 学 期	図形の性質 ・チェバの定理・メネラウスの定理について理解させる。 ・チェバの定理・メネラウスの定理を用いて、線分の比、共点、共線に関する基本的な問題が解くことができるようにする。	・チェバの定理・メネラウスの定理	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	6
	整数の性質 ・倍数の性質、約数を使った一次不定方程式の解について考え、そのすべての解を一般化して表現することができる。	・一次不定方程式	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○		8
	定期考查			○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科

数学 科目 数学Ⅲ

教 科： 数学

科 目： 数学Ⅲ

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年

使用教科書：(新編 数学Ⅲ (数研出版))

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 数学Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	関数 ・分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。	・分数関数 ・無理関数 ・逆関数と合成関数	【知識・技能】 ₁ 考察 【思考・判断・表現】 ₁ 考察、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ₁ 考察、授業の取り組み	○	○	○	11
	数列の極限 ・数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められる。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できる。	・数列の極限 ・無限等比数列 ・無限級数	【知識・技能】 ₁ 考察 【思考・判断・表現】 ₁ 考察、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ₁ 考察、授業の取り組み	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
	関数の極限 ・数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用することができる。	・関数の極限 ・三角関数と極限 ・関数の連続性	【知識・技能】 ₁ 考察 【思考・判断・表現】 ₁ 考察、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ₁ 考察、授業の取り組み	○	○	○	12
	導関数 ・微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用できるようにする。	・微分係数と導関数 ・導関数の計算 ・加法定理 ・加法定理の応用	【知識・技能】 ₁ 考察 【思考・判断・表現】 ₁ 考察、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ₁ 考察、授業の取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	いろいろな関数の導関数 ・導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・いろいろな関数の導関数 ・第 n 次導関数 ・曲線の方程式と導関数	【知識・技能】 ₁ 考察 【思考・判断・表現】 ₁ 考察、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ₁ 考察、授業の取り組み	○	○	○	13
	導関数の応用 ・導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする。	・接線の方程式 ・平均値の定理 ・関数の値の変化 ・関数のグラフ	【知識・技能】 ₁ 考察 【思考・判断・表現】 ₁ 考察、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ₁ 考察、授業の取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	いろいろな応用 ・関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、点の運動や近似式についても理解し、導関数を様々な方法で活用する。	・方程式、不等式への応用 ・速度と加速度 ・近似式	【知識・技能】 ₁ 考察 【思考・判断・表現】 ₁ 考察、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ₁ 考察、授業の取り組み	○	○	○	14

3 学 期	不定積分 ・様々な関数の不定積分やその計算 法則を導関数をもとにして考え、そ れをもとに不定積分を求められるよ うにする。	・不定積分とその基本性質 ・置換積分と部分積分法 ・いろいろな関数の不定積分	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	14
	定期考查			○	○	○	1
	定積分 ・様々な関数の定積分を求められる ようにする。また、定積分を面積と して捉え、様々な事象の考察に活用 できるようにする。	・定積分とその基本性質 ・置換積分と部分積分法 ・定積分のいろいろな問題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	18
	積分法の応用 ・定積分を活用して、面積、体積、 曲線の長さなどを求められるように し、またそれらを通じて定積分の理 解をさらに深める。	・面積 ・体積 ・道のり	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	18
合計							140

56

36

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学C

教 科： 数学 科 目： 数学C 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年

使用教科書：（ 新編 数学C（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	ベクトルとその演算 ・向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また、ベクトルの内積について理解し、平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。	・ベクトル ・ベクトルの演算 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積	【知識・技能】 <u> </u> <u> </u> <u> </u> 【思考・判断・表現】 <u> </u> <u> </u> 【主体的に学習に取り組む態度】 <u> </u> <u> </u>	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	ベクトルと平面図形 ・位置ベクトルについて理解し、位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用できるようにする。また、図形をベクトルを用いて表せることを理解し、基本的な図形のベクトル方程式を求めたり、ベクトル方程式が表す図形を求めたりできるようにする。	・位置ベクトル ・ベクトルの図形への応用 ・図形のベクトルによる表示	【知識・技能】 <u> </u> <u> </u> 【思考・判断・表現】 <u> </u> <u> </u> 【主体的に学習に取り組む態度】 <u> </u> <u> </u>	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	空間ベクトル ・平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また、それに関連して、座標空間における点や図形について考察できるようにする。	・空間の点 ・空間のベクトル ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・ベクトルの図形への応用 ・座標空間における図形	【知識・技能】 <u> </u> <u> </u> 【思考・判断・表現】 <u> </u> <u> </u> 【主体的に学習に取り組む態度】 <u> </u> <u> </u>	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	複素数平面 ・複素数平面において複素数の演算がどのように表されるかを理解し、複素数の計算を図形を用いて考察するとともに、図形の考察に複素数の計算を活用できるようにする。	・複素数平面 ・複素数の極形式 ・ド・モアブルの定理 ・複素数と図形	【知識・技能】 <u> </u> <u> </u> 【思考・判断・表現】 <u> </u> <u> </u> 【主体的に学習に取り組む態度】 <u> </u> <u> </u>	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	2次曲線 ・放物線、楕円、双曲線の定義や性質を理解し、それらを図示したり、問題の解決に活用したりできるようにする。また、離心率を用いて2次曲線を統一的に捉えられるようにする。	・放物線 ・楕円 ・双曲線 ・2次曲線の平行移動 ・2次曲線と直線	【知識・技能】 <u> </u> <u> </u> 【思考・判断・表現】 <u> </u> <u> </u> 【主体的に学習に取り組む態度】 <u> </u> <u> </u>	○	○	○	7
	媒介変数表示と極座標 ・曲線が媒介変数を用いて表される仕組みを理解し、様々な曲線の媒介変数表示について考察できるようにする。また、極座標の仕組みについて理解し、図形を極方程式で表したり、極方程式が表す図形を求めたりできるようにする。さらに、コンピュータを用いるなどして、様々な曲線についてその方程式や概形について、主体的に考察しようとする姿勢を養う。	・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式 ・コンピュータの利用	【知識・技能】 <u> </u> <u> </u> 【思考・判断・表現】 <u> </u> <u> </u> 【主体的に学習に取り組む態度】 <u> </u> <u> </u>	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 数学 科目 標準数学

教 科： 数学 科 目： 標準数学 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 完全攻略 高校生の基礎数学トレーニング（実教出版） ）
（ 完全攻略 高校生の一般常識＋SPI問題集 （実教出版） ）

- 教科 数学 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 標準数学		の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
数学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して、事象を論理的に考察する力、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察し問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	数の計算 ・四則演算、累乗、虫食い算、分数の計算ができるようにさせる。	・四則やかっこの混じった式の計算 ・小数・分数の計算	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	比率と割合・比例と反比例 ・比の計算、割合、比例と反比例を理解させ、活用できるようにさせる。	・比の表し方・計算 ・割合 ・比例と反比例	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	四則計算、小数・分数の計算 ・四則演算、小数の計算、分数の計算ができるようにさせる。	・四則演算 ・小数の計算 ・分数の計算	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	文字式・整式の計算 ・文字式、同類項の整理、指数法則を用いて計算ができるようにさせる。	・文字式の表し方 ・指数法則	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	比、割合 ・比、割合の計算ができるようにさせる。	・比例式 ・割合の計算	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	定期検査			○	○		1
	乗法公式による展開と因数分解 ・展開、因数分解ができるようにさせる。	・乗法公式による展開 ・因数分解	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	無理数の計算 ・平方根の計算、分母の有理化ができるようにさせる。	・平方根の計算 ・分母の有理化	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	1 次方程式 ・1 次方程式、連立方程式の解を求めることができるようにさせる。	・1 次方程式 ・連立方程式	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2

2 学 期	損益 ・ 損益の計算ができるようにさせる。	・ 定価、売価、利益	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	料金 ・ 料金に関する問題が解けるようにさせる。	・ 代金（料金）割引の計算問題 ・ 代金の清算問題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	速さ・時間・距離 ・ 速さ・時間・距離の計算、単位の変換ができるようにさせる。	・ 距離、速さ、時間の計算 ・ 単位の変換	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	定期考查			○	○		1
	2次方程式 ・ 2次方程式の解を求めることができるようにさせる。	・ 2次方程式	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	不等式 ・ 1次不等式、連立不等式の解を求めることができるようにさせる。	・ 1次不等式 ・ 連立不等式	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	1次関数とグラフ ・ 1次関数のグラフ、直線の式、2直線の交点を用いた問題が解けるようにさせる。	・ 1次関数のグラフ ・ 2直線の交点	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	濃度算 ・ 食塩水の濃度を求めることができるようにさせる。	・ 食塩水の濃度 ・ 水や食塩水を加える問題 ・ 異なる濃度の食塩水を混ぜる問題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	年齢算 ・ 年齢の差、年齢の比に関する問題が解けるようにさせる。	・ 年齢の差に関する問題 ・ 年齢の比に関する問題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	仕事算・水槽算 ・ 仕事算、水槽算の問題が解けるようにさせる。	・ 仕事算に関する問題 ・ 水槽算に関する問題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
2 学 期	定期考查			○	○		1
	2次関数とグラフ ・ 2次関数のグラフ、放物線と直線の交点を用いた問題が解けるようにさせる。	・ 2次関数のグラフ ・ 放物線と直線の交点	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	図形と角・合同な図形・平行線と線分の比 ・ 図形と角、合同な図形に関する問題が解けるようにさせる。 ・ 平行線と線分の比を求めることができるようにさせる。	・ 図形と角 ・ 合同な図形 ・ 平行線と線分の比	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2

3 学 期	図形の面積・体積 ・図形の面積・体積を求めることができるようにさせる。	・図形の面積 ・立方体の表面積・体積	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	三角比 ・三角比に関する問題が解けるようにさせる。	・三角比の定義・相互関係 ・正弦定理・余弦定理・三角形の面積	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	順列・組み合わせ ・順列・組み合わせに関する問題が解けるようにさせる。	・順列 ・組み合わせ	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	確率 ・確率に関する問題が解けるようにさせる。	・確率	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	平均の計算 ・平均値の計算、データの合計値の計算ができるようにさせる。	・平均値 ・データの合計	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	定期考查			○	○		1
	場合の数と確率 ・和の法則と積の法則、順列、組合せ、確率に関する問題が解けるようにさせる。	・和の法則と積の法則 ・順列・組合せ ・確率	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	1
	表の読み取り・資料の整理 ・平均値、中央値、最頻値を求めることや、表の読み取りができるようにさせる。	・平均値、中央値、最頻値 ・表の読み取り	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	さまざまな問題① ・距離、速さ、時間の関係、濃度算に関する問題が解けるようにさせる。	・距離、速さ、時間の関係 ・濃度算	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	さまざまな問題② ・不等式と領域、数列、対数に関する問題が解けるようにさせる。	・不等式と領域 ・数列 ・対数	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	表の読み取り ・表を読み取ることにより値を求めることができるようにさせる。	・表の読み取り	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	図形 ・展開図、図形の照合に関する問題が解けるようにさせる。	・展開図 ・図形の照合	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2

集合 ・集合に関する問題が解けるようにさせる。	・集合の要素の個数	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
推論（順序） ・順序に関する推論の問題が解けるようにさせる。	・順序の推論	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
推論（正誤） ・正誤に関する推論の問題が解けるようにさせる。	・命題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
定期考査			○	○		1
						合計
						70